

現況・課題と再整備の方向性

ー 交通処理の課題、駅前広場の利便性向上、歩行者の安全確保、バリアフリー化やにぎわい空間が不足している課題を踏まえ、再整備の方向性を示します。ー

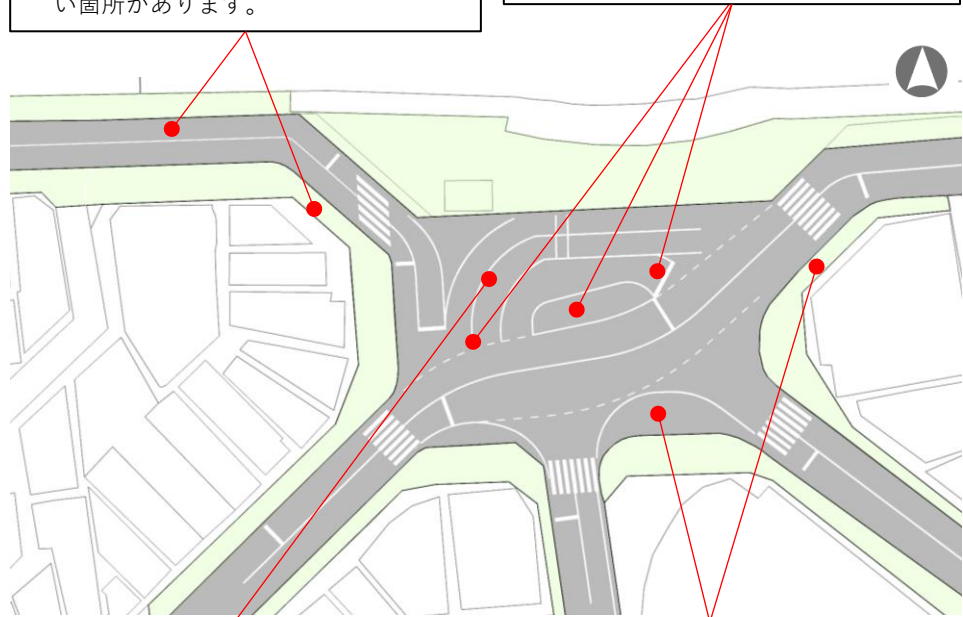
【整備前】

課題① 交通渋滞と狭小な歩道

- ・市道南115号線において、違法駐車などによる交通渋滞が発生しています。
- ・歩行、滞留空間としては狭い部分があるため、歩行者の安全確保が難しい箇所があります。

課題② 不明瞭な車両動線

- ・現況は区画線で明示しているものの、ロータリーの出入口やJR荷捌き場、都道が一体的に見え、運転者が戸惑う構造となっています。



課題③ 車道中心の空間構成

- ・現在は歩行者空間等に対し車道空間が多く占めていることから、イベントの開催などにぎわいの創出に対し、支障となっております。

課題④ バス停からの乱横断

- ・バス停から駅に向かう途中の横断歩道前の歩行者空間が狭いこともあり、早朝の時間で駅に向かって都道を乱横断する歩行者が一部見られ、安全上の課題があります。



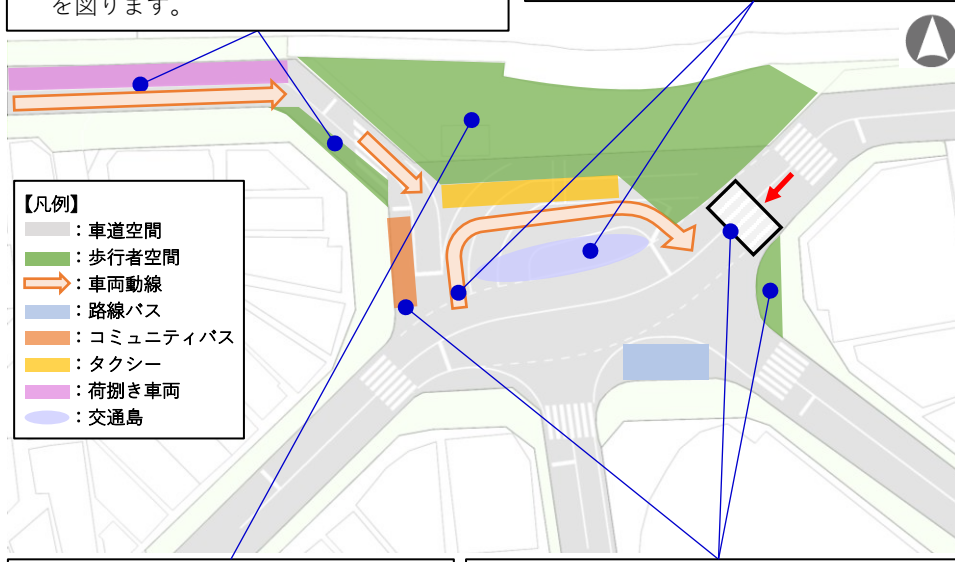
【整備後】

方向性① 市道南115号線一方通行化

- ・令和4年度の交通量調査を基に、本路線を一方通行化することで、交通を整流化します。また歩道を拡幅することで、歩行者の安全の確保を図ります。
- ・一方通行化に併せて、JRも含めた荷捌きスペースを整備することで違法駐車対策を図ります。

方向性② 車両動線の集約

- ・都道からロータリーへの進入路を一本化することで、車両動線を集約します。
- ・ロータリーと都道との間に交通島を設けることで、車両動線の明瞭化を図ります。



方向性③ 歩行者空間の拡充

- ・にぎわい創出のため、歩道の拡幅、広場空間の拡張を行います。
- ・駅前広場は、バリアフリー化やユニバーサルデザインに配慮した空間形成をします。

方向性④ ぶんバスのバス停移設と駅への安全な歩行者動線確保

- ・ぶんバスのバス停をロータリー内に移すことで、利用者の安全を確保します。
- ・植栽帯を歩行者空間として整備するとともに、横断歩道を駅への最短動線になるよう移設します。



出典「まちなかにおける道路空間再編のデザインガイド」

出典「令和2年度 ストック効果パンフレット」